

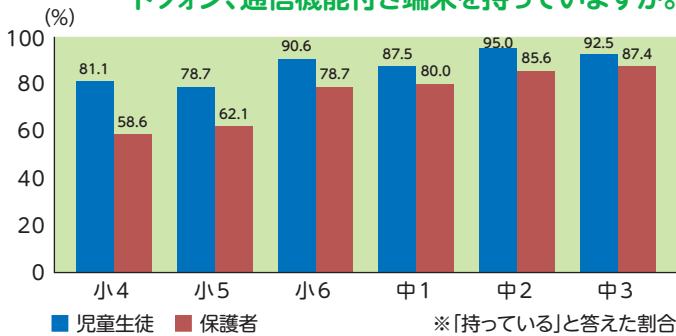


成30年10月、秋田県教育委員会は小学校4年生以上の児童生徒とその保護者を対象に、携帯電話やスマートフォン、インターネット等の利用についてアンケート調査を実施しました。美郷町の結果をお知らせしますので、ご覧ください。

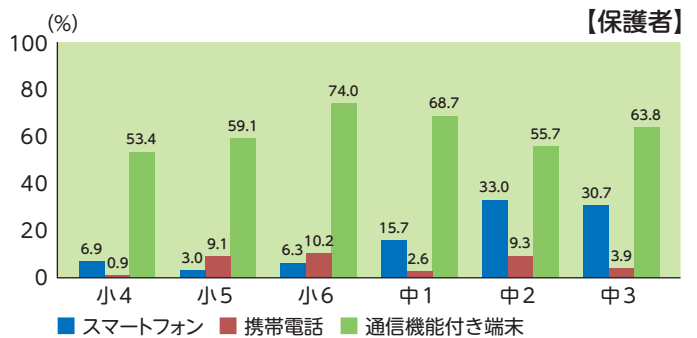
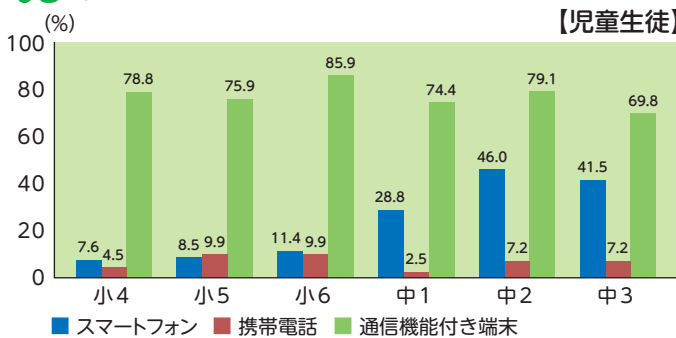
この結果をもとに、通信機器やインターネットの安全で健全な利用の仕方について、ご家庭でも話し合いをしていただけたらと思います。

※児童生徒と保護者の回答数が同数でないため、「%」で表示しています。
また、問2から問6は、問1で「持っている」と答えた人のみ回答しています。

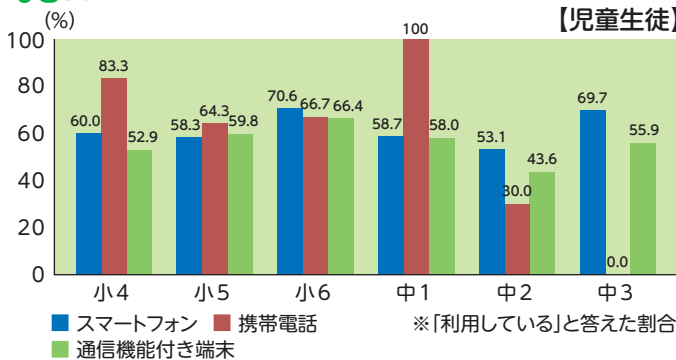
問1. あなた(お子さん)は自分専用の携帯電話、スマートフォン、通信機能付き端末を持っていますか。



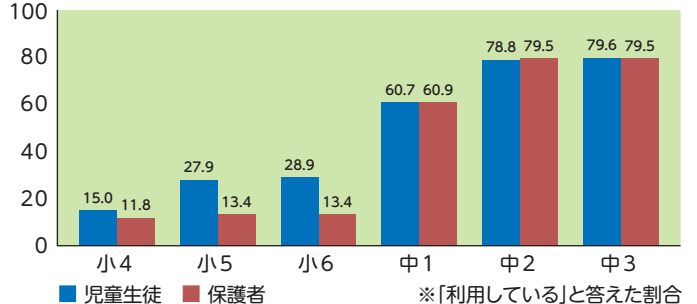
問2. あなた(お子さん)は携帯電話、スマートフォン、通信機能付き端末のどれを持っていますか。



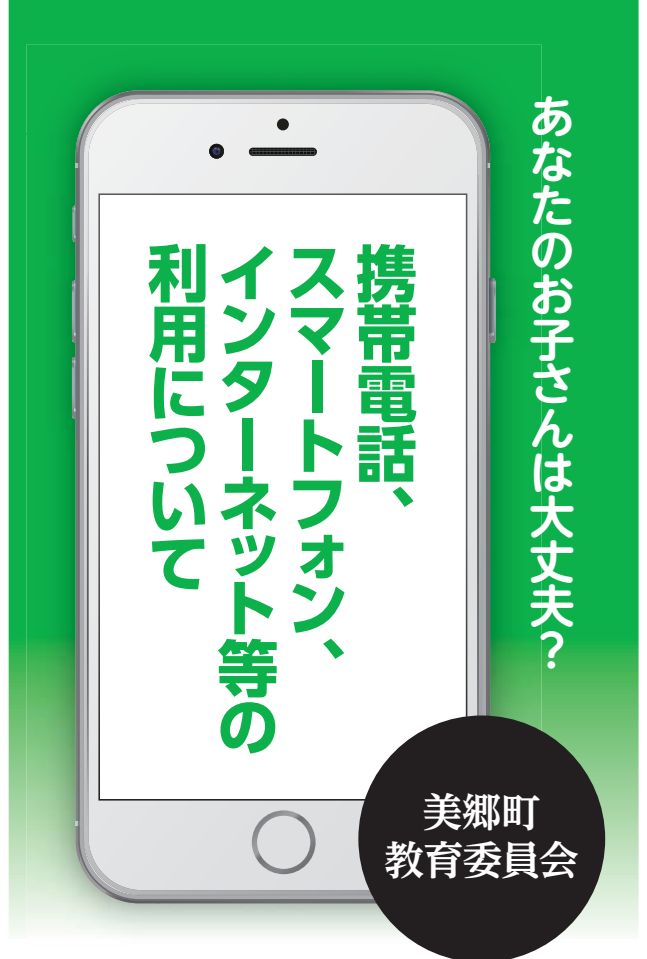
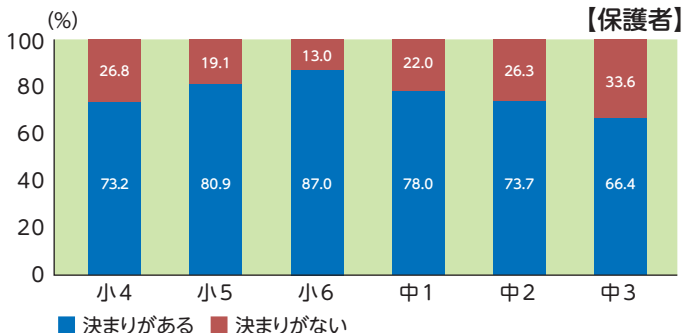
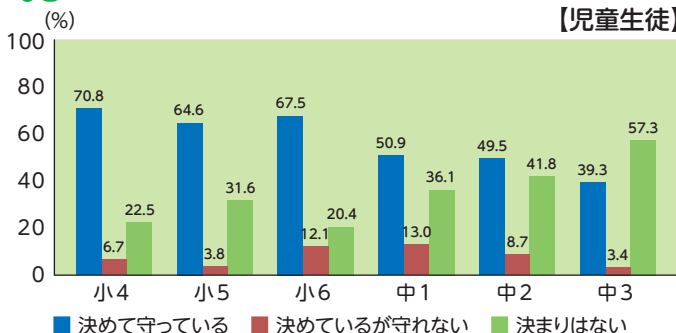
問3. フィルタリング機能を利用していますか。



問4. あなた(お子さん)はLINE等のコミュニケーションアプリを利用していますか。



問5. 通信機器の使い方についてルールを決めていますか。



問1から、4年生以上の約8割以上の児童生徒がインターネットを利用できる環境にあることが分かります。

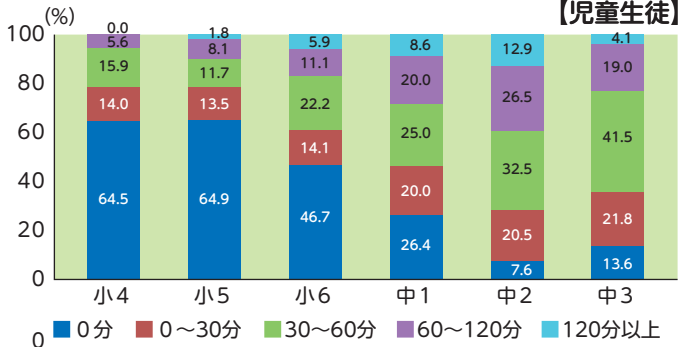
問2から、多くの児童生徒が通信機能付き端末（ゲーム機器や音楽プレーヤー等）を所持していることが分かります。このような通信機能付き端末を利用することにより、インターネットへの接続、サイトの閲覧やサイトへの書き込み等ができる場合があるので十分に注意する必要があります。

問3の「フィルタリング機能」はインターネット被害等にあわないための方策の一つですが、残念ながらすべての学年において利用率は伸び悩んでいます。

問5の「機器の使い方のルール」に関して、お子さんと保護者の皆さんの間に認識の差があるようです。お子さんの持っている機器について、通信機能の有無や保護者管理機能の設定等の確認、利用のルールについて、ご家族でしっかり話し合っていたらと思います。

問6. あなたのアプリの利用時間(平日における1日平均)はどれくらいですか。

(アプリ…LINE等のコミュニケーションアプリ)

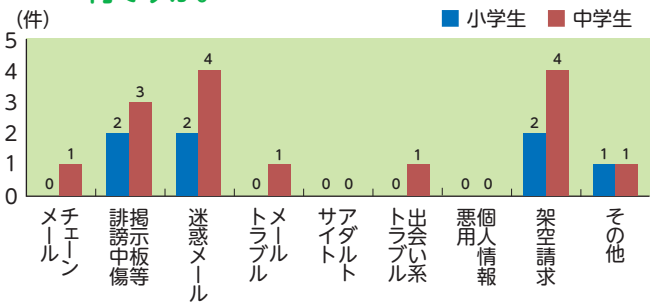


平日に長時間利用している児童生徒の割合が、6年生以上で多くなる傾向にあります。特に、中1と中2では60分以上利用している割合が約30%から40%と高くなっています。

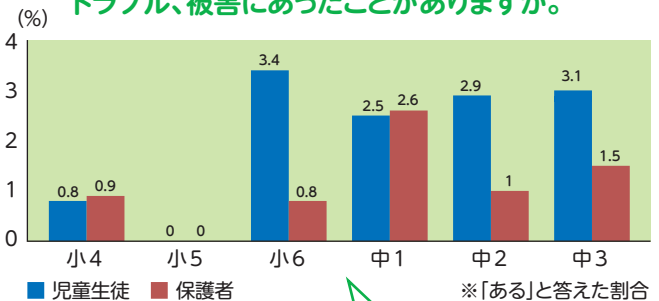
脳科学者である東北大学の川島隆太教授は、「勉強を頑張っても、スマートフォン・携帯電話の使用時間が長いほど、学力が低下してしまう」との研究結果を発表しています。

問8. 「ある」と答えた人は、トラブルや被害の内容は何ですか。

(複数回答可 件数)



問7. あなた(お子さん)はインターネットやメール等のトラブル、被害にあったことがありますか。



実際にトラブルや被害にあってしまった児童生徒がいるようです。しかし、そのようなトラブルや被害について保護者の皆さんが把握していないケースがあることが分かります。インターネットトラブルは重大な事態につながる可能性が高いことから、普段からどんなことでも気軽に相談しやすい環境をつくる必要があります。

パソコン、スマートフォン、音楽プレーヤー、ゲーム機…インターネットを安全に使うために知っておくべきポイント

投稿した文章や写真などは世界中に公開されます

インターネットは情報の共有を前提としたサービスです。見知らぬ相手が、あなたの投稿を検索して見つけるかもしれません。「鍵付き」などの公開制限も絶対に安全とは限りません。

いったん投稿してしまったらすべてを取り消すことはできません

投稿元のデータを削除できても、ネットに流出したデータを完全に削除することはできません。コピーされて、悪用されることもあります。他人に見られたくない文章や写真を投稿すべきではありません。

インターネット上では匿名性はありません

人の悪口を書いたり、人を不快にさせる画像などを投稿したりすると、インターネットへの接続記録や、投稿した文章・写真などの記録からあなたが特定されます。

インターネットでの発信トラブルがこれからの人生に影響してしまいます

冗談のつもりでの書き込みや、軽はずみな画像などの投稿が大きな騒ぎ(炎上)になることがあります。それによって、処罰される人や、進学・就職・結婚等に影響し後悔する人が増えています。

インターネットを楽しく安全に使うコツ

- 顔写真や学校名、連絡先などの情報は、自分のもも友達のもも投稿しない。
- 見知らぬ相手の性別・年齢を信用せず、インターネット上で相談や打ち明け話をしない。
- インターネットでのやり取りは伝わりにくい。相手の理解を求め過ぎず、余裕をもつ。
- インターネットの利用でトラブルにあったら、隠さず、速やかに周囲の大人に相談する。

秋田県教育委員会「大人が支える！インターネットセーフティの推進」より